

神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会委員
R4年度 自主事業モニタリング 実績

I 本館

参加者数計(延べ)29名

大ホール主催公演

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
オープンシアター2022	8月 20日 (土)	○	2
スターダンサーズ・バレエ団 Dance Speaks	9月 3日 (土)	○	3
浜辺のインシュタイン	10月 8日 (土)	○	3
	10月 9日 (日)		
ファンタスティック・ガラコンサート2022～愛の花束～	12月 29日 (木)	○	3

小ホール主催公演

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
なし			

ギャラリー

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
ドリーム/ランド	12月 29日 (木)	○	2

II 神奈川芸術劇場

ホール主催公演

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
夜の女たち	9月 10日 (土)	○	2
星の王子さま	1月 25日 (水)	○	2

大スタジオ主催公演

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
さいごの1つ前	8月 10日 (水)	○	2
	8月 13日 (土)		

中スタジオ主催公演

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
ライカムで待っとく	11月 30日 (水)	○	2
	12月 3日 (土)		

アトリウム主催公演

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
KAAT Exhibition 2022「鬼頭健吾展」Lines」	5月 11日 (水)	○	1

神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会委員
R4年度 自主事業モニタリング 実績

Ⅲ 県立音楽堂

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
音楽堂紅葉坂プロジェクト Vol.1	7月 2日 (土)	○	1
子どもと大人の音楽堂<子ども編>—せかいはともだち!	8月 6日 (土)	○	2
シッラ	10月 30日 (日)	○	2
クリスマス音楽会ヘンデル「メサイア」全曲	12月 11日 (日)	○	1

Ⅳ もみじホール城山

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
ヘンゼルとグレーテル	1月 22日 (日)	○	1

1. プログラムの内容、質について(脚本、演出、出演者、構成など)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	15	14		1		30
構成比	50%	47%	-	3%	-	100%

2. 先進性、創造性、専門性(公演の企画内容に斬新さ、創意・工夫が見られるか)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	16	14				30
構成比	53%	47%	-	-	-	100%

3. 入場料金の設定について

	高い	やや高い	普通	やや安い	安い	計
回答数		3	14	4	8	29
構成比	-	10%	48%	14%	28%	100%

4. プログラムの設定日時は適当か(開演時刻、終演時刻、公演期間などについて)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	9	13	7			29
構成比	31%	45%	24%	-	-	100%

5. 会場の規模や特性を活かした公演か

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	21	7	2			30
構成比	70%	23%	7%	-	-	100%

6. 今回のプログラムの情報の提供の仕方(広報はいきわたっているか)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	6	15	8	1		30
構成比	20%	50%	27%	-	-	100%

7. ホームページは適当か(わかりやすいか、興味を引く内容か)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	10	15	3	2		30
構成比	33%	50%	10%	7%	-	100%

8. リピーターを増やす取組みは適当か(その他の公演情報の提供方法など)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	3	17	10			30
構成比	10%	57%	33%	-	-	100%

9. 係員の対応

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	3	18	8			29
構成比	10%	62%	28%	-	-	100%

※「オープンシアター2022」は一つの催しに複数公演があるため、前のページの参加者数と本ページの回答数は一致しない

1 公演・講座 気づいた点（良かった点、工夫が必要な点）

※神奈川芸術劇場は「KAAT」と表記

公演名/施設	ご意見
オープンシアター2022/県民ホール大	<p>バレエ公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たった1時間とは思えない密度の濃さで大満足でした！特に白鳥のプリマの方の、まあなんと美しい動き！あまりの素晴らしさに涙が出そうでした。ガラ公演だから、いいとこどりであって、ストーリーの高まりでこの振り付けが出て・・・ということではなくても、やっぱりいいですね～。ジーンとしました。王子のジャンプの連続も思わず大拍手してしまいました。ああいう時には拍手で称賛するものなのである、ということが初めてバレエを見た時ってわからないんだけど、そうか、こういう時には拍手していいんだね、むしろ拍手するものなのね！ということがバレエ初めての人にもきっとよく分かったのではないかと思います。マイムの解説も楽しかったし、小さい団員さんの愛らしさもたまらなかった！くるみ割り人形のオールスター登場なんてもう贅沢すぎて興奮しました。舞台装置がなくても、説明と照明効果だけで、場面が浮かんでくるような気がしました。 ・夏休み時期の入門的なこういう催しというのは、特別に先進的ということではなく、むしろ定番かと思いますが、本番前に舞台上で見学できたりするのは夏休みの特別な経験になったと思います(皆さん楽しまれていましたね！)。司会役の方の素晴らしい進行ぶり、字幕、そして音声ガイドなどの相乗効果で、始めて観る人にも抵抗なく、また、おそらくバレエファンの人にも満足できる内容になっていたと思います。なにしろ、一つ一つが本物で、本当に贅沢でしたよね。音声ガイド(※)については、モノラルなので音質的にはまあ物足りないですけど、不要なときにはオフにすることもできるので、ここは解説なしでただただ没入して観ていたい！という時にはボリュームを下げたりすることもできますから、とっても良かったと思います。解説を聞いて、なるほどそういう意味だったのね！と初めて知るようなこともありましたので、特に始めて観る演目の時などはあると便利かもしれませんね。もう少し音質が良ければ500円くらいで借りるかも(美術館の音声ガイドみたいな感じですね)。自分のスマホと自分のイヤホンでも聞けるような仕組みとか、そのうちに開発されそうな気がします。美術館の音声ガイドだと、浮世絵だと落語家さんが、クリムト展の時には稲垣吾郎が音声ガイドをやっていたりして、それを楽しみに借りたりしますもんね！(1回限りの公演ではペイしないでしょうから難しいか) ・親子連れで参加するにはぴったりの金額設定。大変リーズナブルだと思います。午前中の公演で、お子さん連れにはぴったりだと思います。公演後に、家族で中華街でランチしたり公園でサンドイッチを食べたりしたら楽しいだろうな～。ただ、バックヤードツアーが12:10からというのは規制退場していると、いささか慌ただしい時間設定だと思います。私がバックヤードツアーの受付に着いたのは12:09でしたし、その時間でもまだみなさんお揃いではありませんでした。 ・音響も素晴らしく、また、字幕などの設備も良かったです！
	<p>オルガン公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オルガン奏者の方のお話し中、ちょっと会場内がざわつく時がありました。小さいお客さんにとってはちょっとお話が長かったですかね。でも演奏が始まるや、さっきまでのざわつきはどこへやら。みんな集中して聞くことができ、音楽の力を感じることができた時間でした。パイプオルガンの演奏の手元を見てみたいと思っていたのでプロジェクターで映し出すのは良い工夫だったと思います。舞台袖からスタッフの方が出てきてリモコン操作しているのが手作り感があり、ほほえましい感じがありましたが、ちょっと気が散るので、舞台に出てこなくても操作できるといいのかなと思います。また、どうせならピアノの手元も見たかったです。 私が観たのは2回目公演でしたが、アンコールが出たのも嬉しかったです。予定外だったようですが、それはそれで特別感があってよかったです。 ・パイプオルガンを見る機会というのはなかなかありませんので、良い機会になったと思います。 ・とってもお安いと思います。大人は千円でもいいのではないかと思います。 ・1回目はバレエと同じ時間、2回目はバレエのあとだと待ち時間がやや長くなってしまっているので、同日開催なのであれば2回目をあと30分早くしてもいいのかなと思います。見に来る層がダブっていないのならこれでもいいのかな。 せっかくのパイプオルガンですから、機会をとらえてぜひどんどん活用していただきたいと思います！

※本公演で提供している音声ガイドは、視覚に障害のある人たちが芸術を楽しむために、音により視覚情報を補助するためのものです。

公演名/施設	ご意見
オープンシアター2022/県民ホール大	<p>バレエ公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開演前からステージ上での見学が行われていて、地域のオケらしいリラックスした雰囲気の中、奈川フィルハーモニーの楽団員たちとの交流が図られているのは、ワクワク感を醸成するのに有効な手法だと感じた。バレエの3大名作から少しずつ異なる要素を含むシーンを取り上げたプログラムは文句なく楽しい。最後にすべての出演者が登場して華やかなフィナーレを演出する振付もとても効果的だった。マイムを活用した体験コーナーは構成としても良いアイデアであり、チェレスタやハープの音を取り出して聴かせるのも、多角的に興味を喚起する工夫として功を奏している。バレエは女の子にとっては憧れの世界の一つであることは確かで、バレエシューズ姿の子どもたちがステージに立っている姿は、より身近に感じる要素にもなったことだろう。何よりもオーケストラの生演奏で鑑賞できる機会提供はとても効果的であり、地域に根付いたオーケストラを有するメリットは大きい。出演した東京シティ・バレエ団員およびバレエ学校の生徒たちにとってもまたとない経験になったことと思う。会場には自らもバレエを習っているような雰囲気の子どもたちも少なくなく、改めてバレエ人気の高さを感じた。その一方で、そうした名作の魅力や関心の高さに頼るプログラム構成からもう一步踏み出した企画にも期待したいような気がする。
	<p>オルガン公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール備え付けのオルガンに焦点をあてて、ピアノと比較しながら、親しみやすい作品を並べて、興味を深めるプログラム。通常は背中しか見えないオルガニストの手元をプロジェクターを使って見せる工夫も説得力がある。響きもとても良く、観客の入りも適度。同ホールのオルガン・アドバイザーと同世代の若手ピアニスト・作曲家を起用した、小ホールならではの企画だと感じた。ピアノとオルガンの競演による「大きな古時計」は子どもたちにも分かりやすく、とても楽しめる編曲だった。 欲をいえば、ピアノの音が出る仕組みは、内部の構造を視覚的に見せる工夫があっても良かったかもしれない。また、オルガン見学時の誘導の仕方にはもう少し工夫が欲しかった。
スターダンス・バレエ団 Dance Speaks/県民ホール大	<ul style="list-style-type: none"> ・オケピ(ピアノだけだからオーケストラじゃないか?)のあるバレエ公演! 県民ホールが専用劇場ではなく多目的に活用できる会場であるということを生かした公演だと思います。開始前のプレトークも良かったです。観客動員的にちょっと物足りない(空席が目立つ)とも思いましたが、内容(ややマニアック)を考えると健闘したのではないかと思います。バレエ関係者っぽい人もちらほら見かけたような。 ・むしろ今回音声ガイドが欲しかったですwでも、解説なしで自分で感じる事が大切なのかな?とはいえ、バレエの素養のない素人なので、何かもっと見どころをはっきり知って「ここのイタリアンフェッテの連続凄い!」みたいな分かりやすい感動が味わいたかったかも。素人なりに前半は華やかでうっとりとし、後半は、ほうほうなるほど・・・と思いつつ見ましたが、正直なところを言えばモニターでなければ見には来ないと思います。でもそれはあくまで私自身の趣味嗜好の問題であり、こういう企画は意義深いと思っています。むしろ自分では見に来なかつたら経験させていただけたいと思いました。今まで漫画で読んでいたコンテンポラリーのバレエの動きってすごくよく描けていたんだなと、そんな楽しみ方で見ていました。 ・また、料金については、学生券の設定があるのいいと思いました。若い人が劇場に足を運ぶ取組み、とっても大切だと思います! ・1932年の作品である「緑のテーブル」は、多変興味深い作品であった。オリジナルのダンスと振付が同じなのかどうかは不明だが、よりオリジナリティが発揮できる作品のようにも思える。 ・「ウェスタン・シンフォニー」と「緑のテーブル」のダブルビルが効果的なカップリングであったのだろうか。 ・学生席が2,500円と廉価であることは望ましい。ただし、取り扱いがバレエ団のみというのは変えられなかったのだろうか。 ・集客では、やや苦勞をされているように見受けられた。KAATの方がむしろ集中できたかもしれないと思わせる。 ・プレトークにて作品に込められたメッセージやダンスのステップなどについて説明があり、作品自体に興味を喚起されより作品を理解することができよかった。 ・普段あまり触れることのない作品を採り上げた今回の公演は公立劇場ならではの催しであり、県民ホールの姿勢が現れているとあらためて感じた。 ・あまり多くの入場者は見込めない可能性もあったと思うが、一日かぎりの公演として大ホールで集客できた工夫は評価したい。

公演名/施設	ご意見
浜辺のアイ シュタイン/ 県民ホール大	<p>・フィリップ・グラス+ロバート・ウィルソンの作品を舞台化する試みを評価したい。</p> <p>・オペラと呼ぶのが相応しい作品かどうかは別にして、舞台芸術作品として創り上げたことを評価したい。</p> <p>・出演者、演奏者・ダンサー、合唱、スタッフ、そして演出・振付、指揮（合唱指揮）それぞれが、良い仕事をした結果として評価したい。</p> <p>※一柳さんが挨拶文で書いていらっしゃるように「従来の考え方を吟味し、未来志向での創造をめざしたい」と書かれているように、神奈川県文化振興財団は、新しい舞台芸術を創造していく機関としても機能していくことを期待したい。</p> <p>・まず最初にお詫びです。というのも、モニターの申し込みをした時には予定していなかった仕事が入ってしまいまして、それでも午後1時半からの舞台なら3時間もあれば終わるだろうから、それが終わってすぐ戻れば間に合うと思ったのですが、思いがけず（！？ いや、ホームページよく見たら書いてありましたね）大作で、かつ休憩を入れると、相当の長さだったので、これは間に合わないということで、休憩のところでお詫びさせていただきました。なので前半部分のみの感想となります。</p> <p>・これもまたホームページをよく読んでおけば分かったことなのですが、前衛的なものとは全然思わず、松雪泰子サンが出るんだ❗️というミーハーな気持ちで申し込んだのですが、タイトルとポスターの感じから、何か抒情的な、感傷的な内容を想像していたので、そういう意味で大変衝撃的でした。休憩に入るとき、周りの席の人の会話や、トイレで並んでいた人たちの会話で「いたたまれなかった」「自分は芸術というものがわからないんだと思いらされた」「ずっと不協和音が流れてくるのが苦しい」というような声が聞こえてきて、ちょっと安心しました。なぜなら私もそう思っていたからです。それでもTwitterで検索すると、作家の平野啓一郎も絶賛していて、というか、感想をツイートしている人は絶賛しているものばかりでしたね。もしかして後半も見れば私にも何か別の感想が生まれたかもしれません。と書くと、じゃあ私は全く不満な気持ちで帰宅したのかというと、実はそうではなく、先日の「夜の女たち」については「ミュージカルというのは歌やダンスに秀でた人がやるものだと思っていた(がそうではなかった)」というような感想を書きましたが、こちらは逆で、素晴らしいダンス(というのか？振付を含めて全体。一人一人の技量も相当なものだなど)を見ることができた満足感がありました。そういう意味で、(自分では払っていませんが)チケット代の1万円というのは破格であると思います。そして、ほぼ満席に見えたので、この内容とチケット代(いつも同じことを書きますが、チケット代としてはリーズナブルでも一万円というのは生活費としては大金ですので)、これだけの人が来るというのは、財団さんの今までの企画などの魅力に惹かれている、支持しているファンがたくさんいるのだろうと感心しました。始まる前、やけに舞台上のお掃除のスタッフさんが絵になっているなど思いましたが、それにしても動きが素人ではない・・・?と思ったらやっぱり演者さんだったのですね。</p>
ファンタ ティック・ガ ラコンサート 2022～愛の花 束～/県民 ホール大	<p>・盛りだくさんで、まさに「〇〇の宝石箱やあ〜」。指揮者の方が司会進行解説をされていて合理的。素晴らしく多能な指揮者の方で驚きました。天は二物どころか何物も与えていますね。指揮者の方の思い・狙いのあるよい内容だと思いました。インタビューもそれぞれ楽しかったです。</p> <p>今回のコンサートで楽しみにしていたのはなんといっても上野水香さんとバイオリンの石田さん。その共演はもう贅沢の極みですね。でもバレエの方に集中しすぎて演奏の方は私にはBGMになってしまいました。いや、それでよいのか。一体感があるということなのか(でも演奏に集中して聞きたかった気もします)。音楽も相まって振付自体にストーリーがあるのかどうかはよくわからねど、何か(良い意味で)心がかき乱されました。これが音楽の力かもしれないですね。バレエは、どの瞬間も絵になる素晴らしさ！コッペリアにもうっとりしました。</p> <p>・オペラについても、本来ならば本格的な舞台装置でやるものですが、照明の効果だけでも、これだけ場面転換できるのかと。もちろん出演者の方の技量のおかげでもあると思いますが、かなり雰囲気が伝わってきました。最後、アンコールのラデツキー行進曲も「待ちました！」。最高の盛り上がりでした。手拍子での参加が楽しかった！最後の銀のテープも(定番といえば定番の演出かもしれませんが)やっぱり良いですね！</p>

公演名/施設	ご意見
ファンタスティック・ガラコンサート 2022～愛の花東～/県民ホール大	<p>・企画自体は恒例のようですが、いろいろ工夫を凝らしてブラッシュアップされているようなので、初めて拝見した私には過去との比較はできませんが、少なくとも今回の公演には大満足です！また、休憩になった途端子どもたちの声が響き、そうか、結構小さい子連れの人がいたんだなと思いました。公演中にはうるさくしているようなことはなかったの、まさに子どもから大人まで、クラシックコンサートデビューの人から通の人まで、みなさんが楽しめる内容だったと思います。リピーターが多いのもむべなるかなと。</p> <p>・この内容なら大変リーズナブルだと思います！</p> <p>・12/29というこで（一般的な）仕事納め後で、お休みの人も多いので参加しやすい良い日程だと思いますが、ラデツキー行進曲のイメージもあり、新春コンサートでもよかったかも？と思います。あるいはスタッフの人達のことを考えると12/28までに開催しちゃってもよかったのかも？そのあたりのワークライフバランスは気になります。相当前ですが、私自身ジルベスターコンサートの手伝いをした時に、年末に仕事があるとすごくリズムが狂うなと思いましたので、舞台人としてはむしろお仕事をすることがよいのかもしれないんですが、勤め人としてはどうなのかな？と。お客さんが喜んでくれていれば苦労も疲れも吹きとびますかね？だとしたら観客にとってはありがたい話です。</p> <p>・多目的に使えるホールの特性を生かした公演だと思います。横に出ていた電光の字幕も良かったです。</p> <p>・“音楽のフルコース”と公演の見出しにある通り盛りだくさんのコンサートでガラコンサートにふさわしい内容だと思った。映画、クラシック、バレエ音楽などバラエティに富んだ楽しいコンサートだった。アーティストの出演順にも工夫があり大変良かったですし、2部の構成の展開にも飽きさせない演出があったと思う。様々なジャンルですからステージの入れ替わりには注意が払われていたと思います。</p> <p>・年末・年越しのプログラムらしい華やかな内容で、毎年継続して欲しい。</p>
ドリーム/ランド/県民ホールギャラリー	<p>・「現代アートとは理解できないものと見つけたり」の境地で、無理に理解だの解釈だの謎解きしようと思わず、何か感じたり刺激を受けることができたならそれでよいのだ！という気持ちで臨んで楽しむことができました。盛りだくさんの内容でそれぞれ楽しめた楽しい展覧会でした。最初の部屋で、ブラックライトを当てると透かしが見えますよとスタッフさんがブラックライトを貸してくださいましたのも楽しかったです。でも触っていいとか、透かしが見えるなんてことは声をかけてもらわないとわからないことなので、何かうまい方法はないですかね。壁のお札も透かしが見えますよと教えてくれたけど、あれにはやっぱり透かしはなかったの、申し訳ないけどちょっとツメが甘い（スタッフさんの情報共有不足？）と思いました。それとも透かしはあったのか？でもスタッフさんと一緒に探しても見つからなかったからあれはやっぱりなかったんですね？</p> <p>・創造性、専門性に富んだ企画だと思います！どうせ行くなら中野さんの講演の日などを狙っていけば良かった！関連事業もいろいろあって魅力的です！</p> <p>・一般の美術館に入ることを考えるとちょっとお高いかなと感じます。期間限定のイベントと考えればこのくらいはリーズナブルかとも思いますが、これにも県民割があってもいいんじゃないかと思いました。証明する方法とか、身分証明書を持ってきていなかったらどうするのかなどの個別判断が出てくるので受付は大変だと思いますが。</p> <p>・本来御用納めで休館日なのかと思われる12/29にも公開してもらっていて助かりました。</p> <p>・今まで入ったことがなかったので、こんなに本格的なギャラリーだったのかと驚きました。特に最後の部屋は階段からの眺めという変化があり、ダイナミックで良かったです。でもその部屋では、一か所プロジェクターが故障？調整中？で、係の人が何やら作業していましたが結局私がいた間には復旧しなかったのが残念。単なる展示ではなく投影するものだとそういうトラブルは困りますね。トラブル自体も困りますが、修復作業中のスタッフさんが見えると、急に現実に戻されて興奮してしまいますし。会場の動線は（暗いこともあいまって）わかりにくく、どうやって出ればいいのかわからなかったです（初見殺しです）。</p> <p>・企画展タイトルだけでは何をテーマにしているのかわかりませんが、作品群を観て現代に生きる人々の気持ちを上手く切り取ったものだと理解することができた。全く異なる個性による作品を集めながら一つのテーマに結びつく内容であり、大変よいキュレーションだと思った。複数の展示室を活かし作品を際立たせる展示になっており、インスタレーションもあって楽しむことができた。</p>

公演名/施設	ご意見
夜の女たち /KAAT大	<p>・難しい社会情勢の中、開演にこぎつけることができよかったです。何日か中止となり、もろもろ調整が大変だったと思いますが、無事に開幕できて何よりでした。生演奏のミュージカル！大変贅沢な感じでよかったです。もともとキャストにひかれて（江口のりこさん！北村有起哉さん！）、モニターでなくても見たいなと思っていたので、とても楽しみにしていました。始まる前は、あれ？意外に空席が？と思いましたが、始まったらほぼ満席！さすがですね。久しぶりにマチネの時間帯ではない劇場を楽しみました。ちょうど中秋の名月、しかも満月の日だったので、ミラーボールや背景の一部（ライトの当たり具合で）が満月に見えました。一人だし、まっすぐ帰りましたが、劇場帰りに終電を気にしながら友だちとおしゃべりしたい・・・そんな夜でした。さて、なぜ前田敦ちゃんをミュージカルに！？今回男性客多めに見えたのですが、敦ちゃん効果ですかね？彼女は、特に最初の方では声が出てなかったし、なぜマエアツ・・・？アイドル出身ということで色眼鏡で見ている部分もあると思いますが（でも劇場出身といえば劇場出身ですが）、「アイドルにできるとかなと思ったけどすごくよかったですよ！」というような感想は持てなかったです。ストックキングがシームレスではないというのは良かったです。（衣装さんの時代考証がよいということか）</p> <p>・ミュージカルとは、歌やダンスの修業を積んだ、あるいは歌やダンスに天賦の才能がある人たちのものだと思っていましたが、今回はそういう感じではないんだなというのが正直な感想です。いや、頑張っている感じはしましたけど。そして、何人か本職の人と思われる人がいたので、全体の質が上がっていたとは思いますが、安心して観られる感じではなかったです。大丈夫か！？とハラハラして、物語を十分楽しめないと感じました。周りを支えている、何役もやる人達はすごかったと思います。前田さん（敦子さんの方じゃなくて、前田前田の前田さんの方）の女装も最初のうち気が付かなかったけど良かったです。</p> <p>・ところどころ、ああ、こういう演出イイ！この群舞の感じやポーズ、照明、イイ！（うっとり）、また、印象に残る曲・フレーズがあり、十分楽しんだのですが、でもなぜミュージカルなのかな～？ミュージカルでなくてもよかったですのではないかな・・・という、見終わった後にちょっと心にざらざら残るものがありました。終わった後に、前の方の席の一部だけスタンディングオベーションになりましたけど、あれはどういうことなんだろうなあ。ああいうのって、立ち始めると全員立ったりする気もするんだけど、そうでもない？（私も立ちませんでした）なので、ネット検索などするとツイッターではおおむね好評、ブログなどに綿々と書いている人は批判的な感じなので、さて、皆さんどう感じたんだろうかと思いますが、客層にもよると思いますが、みんなが立ち上がったわけではないというのが当日の観客の正直な評価であると思います。ネットで発信する人がすべてではない、むしろノイジーマイノリティであって、サイレントマジョリティーの感想は「スタンディングオベーションしない」に尽きたのではないかと思います。（あくまでも私が観た日はそうだったのであって、後半は盛り上がっていたかもしれませんが、そうであったことを願っています）</p> <p>・今回、チケットと一緒に、販売しているパンフレットもいただきました。ありがとうございます！待ち時間のうちにパラパラと読んでいて、ああ、北村有起哉は一人三役であるか、と知ってから見たので、三役であるということはもちろん分かったのですが、帰り道でTwitterを見ていたら、北村有起哉ファンの人の感想で、二役？と書いてあるものもありまして、「狂言回しの男」役が分かりにくかったのかな～（でもそこ大事なところですけど）。といっても、私もパンフ読んでいなかったらわからなかったかも・・・。となると、演出・脚本の問題？予備知識なく見た人の感想が知りたいなと思いました。</p> <p>・休憩に入るところの暗転も、あんまり終わった感じがしなかったの（ここで前半が終わったと気がついて拍手していた人もいましたが、その拍手がまばらに感じました）、こういうのも楽日にむけてどんどん良い感じになっていくのかしら？などと思いながら鑑賞していました。</p> <p>・入場料金については、一万円というのはお金として考えたら大金ですが、この会場でこのキャストで、と考えたら相場からしたらお安いのではないかと思います。でも日ごろお芝居を見に行ったりしない人には一万円は敷居が高いですね。評価が難しいところです。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響を受けた作品となった。 ・芸術監督の作品として、忘れてはいけないことをテーマとしたシーズンの巻頭演出作品。戦後の混乱が続く中、生きるため簡単に女という性を乗り越えていく姿を3人の女を通して時代の混乱を描く。そこには一人の女としての葛藤があっただろうが、それ以上に混沌とした世相を乾いたタッチで描き出す。 ・ミュージカルとタイトルにうたわれているが、いわゆるミュージカルではなく、音楽劇という位置付けの方がよかったですのではないかと印象を受けた。 ・個性あるキャスティングである。 ・舞台美術はシンプルでありながら、この舞台の背景を映し出す効果が期待できる。 ・照明、音楽、衣裳もよい。</p>

公演名/施設	ご意見
星の王子さま /KAAT大	<p>・チラシ画像だけ、予備知識なし、気軽な気持ちで行きました。「星の王子様」ならわからないわけないだろうと思ったからです。改めて現地で資料をちらちら見て、あ、またこれ「わからないやつ」だ！いやいやそれでも星の王子様ですよ？わからないわけない、と思って臨んだ第一幕は、まあお話としては、ああ、これがあのシーンね、出会ったのね？ということは何とか伝わってきました。話の筋立てがどうこうというよりもなんとんでも圧倒的な身体能力に引き込まれて時間があっという間に過ぎました。幕間で、改めていただいた冊子を見て、ああ、なるほどこういうことかとわかりましたが、まあ、わかるかわからないかと言われたらわからない。でも、心地よいわからなさで、なんかわからないけど素晴らしい、何か迫ってくるものがある・・・というステージでした。</p> <p>・ちょっと見るとなかなかチャレンジングな感じもしますが、やはりこれだけの力のある人たちが一堂に会して一つのステージを作り上げるという奇跡のような舞台ではないかと思いました。</p> <p>・出演者を考えるとリーズナブルに感じます。</p> <p>・平日の日中、仕事をしていてもこの時間なら開幕に間に合いますので、社会人にも優しい時間設定だと感じます。</p> <p>・いつも良い席を用意していただいているからということもあると思いますが、どこの席からでも見やすそうなホールの作りで、おそらく後ろの方から見ても楽しめたのではないかと思います。</p> <p>・コンテンポラリーダンスと舞台美術の融合によるサンテグジュペリ「星の王子さま」の新たな解釈である。少数精鋭のダンサーのよく鍛えられた身体と表現能力が素晴らしく、幻想的な舞台美術、音楽とあいまって、見ごたえがある。</p>
さいごの1つ 前/KAAT大スタ	<p>・シンプルな舞台装置を組み合わせる色々なシーンに見立てるといようなお芝居は私自身としてはまさに好みのもので、導入シーンから引き込まれました。ただ、拝見したのが初日だったこともあるのか、全体的に、ややこなれていない感じがしました。といってもこれも好みの問題か？生の舞台は観客の雰囲気によってさらに盛り上がるような双方向性が魅力だとは思いますが。こなれてない感じとってしまっただけ好みも範疇かもしれません。</p> <p>・キッズプログラムと銘打ちつつ、むしろ大人向けな感じ。かといって普通の？大人向けのものとは違う。観客をまきこむ感じはまさにキッズプログラムか。大人向けか子ども向けかというよりも「マニア向け」「通好み向け」と感じます。ここでしか観られない独自性なのかなとは思いました。</p> <p>・昨今、こんな素敵な会場で、こんなキャストで、この金額でお芝居を見られるってことは、なかなかないのではないかと思います。オール民間なら6000~7000円くらい？いや、もっと？しかもお子さん料金もあるので、家族連れにはかなりありがたい、安いというよりむしろ安すぎるくらいではないかと思いました。といってもそれは相場感から見た評価であって、生活者としてはお芝居に出せる金額としては妥当な額かもしれません。むしろほかのお芝居が気軽に見るには高すぎるんですよ。</p> <p>・お子さん連れは1割弱くらい？平日ということもあり、40~60代女性あたりが中心だったように見えました。コロナ以降、マチネが主になっている印象がありますが、お客さんの入りもよさそうでしたし、今の時代のニーズに合っているのだと思います。そもそもお子さん向けですし、内容に見合った時間設定だと思います。</p> <p>・贅沢な公演でした！もっと大きな会場でもよかったかと思いますが、参加している実感が得られるのはこのくらいの規模だからこそか？</p>
	<p>・死後の世界観をみせる舞台であるが、そこにたどり着く3人を待っているのは、地獄の入口。ただ、死後にも様々な生きざまがあることを語る作品。作家の意図することが十分に子供たちに伝わっただろうか。やや懐疑的。</p> <p>・白石加代子、久保井研など実力派俳優をキャスティングすることへの関心が高い作品。白石さんの立ち振る舞いは、これまでに見たことのない役回り。そのこと自体は大変関心を持って観ることができた。ただ、この作品のキャスティングとして白石加代子でなければならぬとまでは思えなかった。</p> <p>・シンプルなセットと衣裳。いわゆる地獄のイメージとはかけ離れてはいるが、どこことなく黄泉の国を彷彿とさせる優しい印象を覚えた。</p> <p>・4才~高校生までの入場料金が1000円はよい</p>

公演名/施設	ご意見
ライカムで待っとく／KAAT大スタ	<p>・ 入場時にいただいたパンフレットで、娘の名前は相関図に出てくる(つまり重要人物)のに、俳優さんの名前が無い、つまり出てこない、というところですが、あ〜？と、ネタバレな感じがしましたが、それもまあ答え合わせのようなもので、興がそがれるというほどではなかったですが、予備知識をどこまで入れておくのがお芝居を楽しむのに必要なことなのかしらという思いは消化しきれないところがあります。そもそも古典などであればストーリーはすでに分かっているわけでネタバレも何もあったものではないのですが、こういう新作の場合はどこまでまっさらな気持ちで見るのが良いのかしらと・・・。</p> <p>出てくる役者さんたちの沖縄の言葉のイントネーションがとても良かったです。沖縄に行ったことは1回しかないのに、後はテレビなどで見聞きした事しかありませんが、あの言葉だけで沖縄の感じがとてもよく出ていました。</p> <p>あめくみちこさんは最近も「沖縄のおばあ」役を朝ドラで演じていらしたので、そのイメージがダブリました。</p> <p>泣き笑いしながら、あっという間に時間が過ぎて、見終わったら心に何か残るものがある・・・って、お芝居として最高ですよ！とても良かったです。(まあ、時々、いやちょっとそれは都合がよいのでは？というようなツッコミで現実に戻るところはありましたが)</p> <p>・ まさに神奈川でやるべき意義のある内容だったと思います。私自身も全く無関係ではない(返還地に建てられた建物で働いていますし、座間キャンプで働く知人や親せきもいますしetc.)けれど、日頃はそこに蓋をしている、そしてそれを後ろめたく思っている、というバックボーンがあるためにさらに響きました。神奈川発の演劇として全国に発信できるといういなと思います。</p> <p>・ 県民割などもあり、リーズナブルだと思います。</p> <p>・ 平日ではないのでちょうどよいと思います。</p> <p>・ 舞台機構を活かした演出もあり、とても良かったです。あの会場には私は初めて入りましたが、入った時はロールバックチェアなのかと思う(実際は固定席?)ような作りなど、なんとなく小劇場を思わせる雰囲気、でも設備は整っていて、お芝居に適した会場だと思いました。英語字幕もあったのでびっくりです。</p> <p>・ 脚本、演出、出演者などが大変良かった。特に沖縄の過去と、現在の状況をうまく演劇として成り立たせたことが成功。</p>
KAAT Exhibition 2022「鬼頭健吾展 Lines」／KAATアトリウム	<p>・ 日頃「インスタレーション」に触れる機会がなく、新鮮な気持ちで楽しみました。(そもそも「インスタレーション」はテレビドラマの登場人物が手がけているところしか見た事がなかった)</p> <p>建物外の道路からも見えるので、施設に興味をもって立ち寄る機会にもなるかもしれません。規則的なようでいて不規則でもあり、色彩的にも刺激もあり、不思議な空間を楽しめました。ただ、これを目的に見に来た人は、あ、これだけなんだ???とってしまうのではないかと思います。ホームページに過去の作品がたくさん紹介されていたので、他のものもあるのかと私が誤解してしまったということでもあります。</p> <p>たまたま立ち寄ったらこれが展示してあった、なにこれ素敵!ということだったら、かなり楽しい、嬉しい展示です。</p> <p>せっかくの展示なので、常設にしてもいいのでは?とも思いました。</p> <p>いくつかのコラボイベントがあるので、興味を持った人は再訪するきっかけになりそう、とは思いました。</p> <p>期間中だったので、オブジェクトストーリーをやってみました。最初まったく意味が分からなかったのですが(!)、見つかると始めると楽しい企画でした。でも老眼の私にはルーペがあれば見えるというわけではなく、これを楽しむにはちょっとバリアがあるなと思いました。</p>
音楽堂紅葉坂プロジェクト Vol.1／音楽堂	<p>・ 音楽堂の新たな取り組みということで期待感があり参加することにした。個人的には「#1呼応する弦楽器と電子音響」が一番楽しむことができた。演奏者、装置、そして劇場自体が一つになった演奏で、面白いものを観ることができ聴くことができた気がした。</p> <p>インスタレーションのように作られたホワイエの体験展示や2階通路に並んだ装置から音が聴こえているのは、このコンサートのイメージを生む上で大変良いと思った。</p>

公演名/施設	ご意見
子どもと大人の音楽堂<子ども編>一せかいはともだち! / 音楽堂	<p>・栗コーダーカルテットの午前のコンサートから参加したのですが、ホールに入ったらほぼ満席で驚きました。驚きというのは、この時間にこの内容でこの場所でこれだけの集客力があるということ、ほぼ満席ではあるものの、座れずに断るほどではないという絶妙な入り具合というバランスです。つまり見立て通りということで、集客という面では大成功だと思いました。その後、中国獅子舞、ホワイエでのガムラン、日本獅子舞等々、観客一体となって盛り上がり、特にサンバの時には「一緒に踊ろう」の誘いにたくさんの子も達が屈託なく参加しており、こういうイベントに連れてくる保護者(このイベント情報をキャッチできる力)、そして楽しめる子どもたちは、まあなんと幸せな家庭であることよ!ここに連れてきてもらって、全身で楽しめるって、なんて幸せなの!?(アンケート結果がわからないのでどこから来た人が多いのかわかりませんが)横浜の子も達は幸せだなあと羨ましくなりました。</p> <p>ただ、能の時ははっきり観客が少なかったですね。舞台上で200~300人くらいかと(それでもたくさん入っているというようなニュアンスを感じましたが)のコメントがありましたので。最初と最後に栗コーダーカルテットを配置するというのは観客数のコントロール方法としてもずいぶん上手なやり方だと思いました。</p> <p>・また、お隣の能楽堂や、地域との連携は多様な主体との連携という意味でも素晴らしいと思います。これが初めてなのかずっとやっているものなのかはわからないのですが、ぜひブラッシュアップしながら、長く続けていただきたいと思いました。</p> <p>それにしてもこれだけのものを無料とはびっくりです。現地で配布されていた栗コーダーカルテットのコンサートはもちろん有料でしたので。</p> <p>さて、今回のイベントは、一日楽しめる、というのもテーマだったと思いますが、飲み物はOKでも食べ物ダメとなると、一日を過ごすのは難しいですね。近くに飲食店はありましたが、千人単位の胃袋を満たすことはできないと思いますので。社会情勢が許せば、キッチンカーなど、世界のさまざまな食べ物に触れることができる機会も同時に提供していただけると、文字通り一日楽しめるイベントになると思います。みなさんはお昼で入れ替わっていたんでしょうか。まあ子連れだったら途中でやっぱり食事の時間を取りますよね。</p> <p>・ホールとホワイエそれぞれの特色を生かしたプログラム構成。催し全体のテーマ設定、各プログラムの配列と時間配分・実演エリアがうまく工夫されていて、自然で無理のない人の流れが生まれていた。出演者をはじめ、ワークショップや絵本コーナーなど、地域の文化資源や人材を幅広く活用した姿勢も高く評価できる。工作で作った紙の帽子をかぶった子どもたちの姿は、お祭りの雰囲気をもたらし、中国獅子舞や神奈川の獅子舞を実演した若者たちのフレッシュな演技は次代への継承への期待感をもたらす。また、近隣の横浜能楽堂で同日開催された「伝統文化一日体験オープンデー」の出演者が音楽堂にも登場して謡・仕舞を実演したほか、能楽の太鼓ワークショップも行うなど、地域連携の取り組みも特筆できる。こうした機会を通して、地域で活動する関係者たちが相互に理解を深め、他ジャンルから学び、協働する場ともなっていきたいと願う。</p>
シッラ / 音楽堂	<p>・神奈川県立音楽堂が「音楽堂室内オペラ・プロジェクト」を継続的に実施していこうとすることは、今後の継続にもかかるが評価される試みである。</p> <p>・今回、2020年2月に上演される予定であった本作品が、コロナ禍にあっても今回公演が行われたことは、喜ばしいことである。</p> <p>・ヘンデル28歳のオペラ作品が公演されることは、音楽界ことオペラ界にとっても大いに意義がある。</p> <p>・舞台美術及び衣裳が歌舞伎をイメージさせる演出であったが、歌舞伎のイメージをこの作品に活かす意義と効果が理解がでないまま、最後まで違和感を覚える演出であった。</p> <p>・海外から多くの音楽家を招聘する作品であり、経費がかかることは理解できるが、やや入場料が高い印象がある。</p>

公演名/施設	ご意見
シッラ／音楽堂	<p>・日本初演(世界初演?)というチャレンジングな企画で、しかもコロナによる延期を経ての開催。関係者のみなさん、本当に大変だったと思います。きっとこれは歴史に残るような、大変意義のあるイベントだったと思います。オペラの内容についてコメントできるような知識はありませんが、ホームページの情報、当日のプレトーク、全員に配布されたパンフレットにより、あらすじや見どころ、鑑賞のポイントをあらかじめ知ることができたので、ゆとりをもって楽しむことができてよかったです。衣装も含めて歌舞伎テイストなのに、出演者はほぼ女性というのも興味深かったです。最後の「大団円」の演出は予想の遥か斜め上で(プレトークの予告で、何か上から降りてくるのでは予測はできましたが)、なるほどパンフレットに新体操経験者云々と書かれていたのはこのことかと得心しました。(ホームページにエアリアル、とは書いてあり、確かにそれっぽい写真が載ってましたが、あれそのものが出るとは思ってなかったのが本当にびっくり。度肝を抜かれました。客席もどよめいていましたよね。私はむしろ二人の女性に気を取られて字幕を読み損ねました(笑))</p> <p>感想をもう一点。例えば小説では「天候による心理描写」などがあるように、ああ、オペラにおいては、音楽が心理描写でもあり、ト書きでもあり、場面転換でもあるんだ!などということを感じながら拝見しました。「オペラ」というものを初見では無かったですが、いままでどちらかという筋書きを追ったり、きらびやかな舞台装置に目をひかれたりしていましたが、今回は音楽の力というものを(素人なりに)感じる素晴らしい体験をさせていただけたと思います。ありがとうございました。</p> <p>・大変斬新な企画だと思います。</p> <p>・たった二日間のためにどれだけの準備がなされてきたのだらうと思うと、気が遠くなる思いです。そう思うと興味がある人にとっては15000円は相当リーズナブルだと思います。</p> <p>・二日間というのはちょっともったいない感じはします。巡回などの予定はあるのでしょうか。放送?なり、DVD販売?なりの予定はありそうでしたが。</p> <p>・開始時間・終了時間は妥当だと思いました。コロナ前なら終演が8時9時というのが良かったですが、昨今はこのくらいが好ましく感じます。</p> <p>・プレトークで、このオペラが作られたころのホールの大きさに近いのではないかというような話や、舞台袖は反響板が固定されている・すっぽん迫りなどの機構がない・つりバトンの数も不足している云々という、制限がある環境をむしろ逆手にとって活かした、工夫のある演出が素晴らしかったと思います。最小限の舞台装置に、照明(というのか、プロジェクションマッピングというのか)で、様々な場面に切り替わっていくのが見事でした!</p>
クリスマス音楽会ヘンデル「メサイア」全曲／音楽堂	<p>・ヘンデルの代表作メサイアという非常にレベルが高く、誘客力のある公演で、音楽堂の音響環境を生かすという点でも優れた企画である。多くの観客が入り、皆満足度も高く素晴らしい公演であったと思われる。これだけの公演にしてはチケット代も極めてリーズナブル。</p>
ヘンゼルとグレーテル/もみじホール城山	<p>・開演前はややざわざわしていたホールが、最初の歌声が流れてきた瞬間、空気が変わり、皆がステージに集中していくところは芸術の力を感じました。</p> <p>ただ、ポスターなどから予想していた(たしか「定番」というような言葉が書いてあったか、定番であると感じさせるような表現があったと思う)スタンダードなヘンゼルとグレーテルというものとは、話の運びが違い過ぎて、さらにオペラならではの発声で、歌声の響き自体は本当に素晴らしいと思いましたが、いかんせん歌詞が聞き取れないのです。だから、ストーリーの肝心なところがわからない!考えてみたら日頃はオペラというのは字幕が出るのですよね。だからわからないということはないのですが、今回ばかりはまいりました。だって、ヘンゼルとグレーテルというのは、いわば口減らしのために捨てられる子ども達が、知恵を絞って家に戻ろうとする、最初は光る石で、次はパンをまいて。でもパンは森の鳥たちに食べられて帰り道が分からなくなってしまったので結局お菓子の家に行くんだけど、魔女とのやり取りを経て、結果的には魔女をやっつけて、家に戻ってくるんですよね?そこに主人公たちの成長や達成感がある。それが「行きて戻りし物語」ということだと思うのですが、今回のお話の場合、森に行く理由がいまいちわからない。昼間のうちに言いつけられた仕事が出来ていなかったうえにミルクのツボを割ってしまったから(でも割ったのはお母さんですよえ?)、その償いとして森でイチゴを摘んで来いと。(この辺は別の物語(12の月の物語)っぽい)まあここまでは分かります。でもその後お父さんとお母さんが生クリームのお菓子の扮装をするところがもう意味が分からなかった。その歌詞が聞き取れなかったということもあるのですが、ポスターによれば、お母さんと魔女は二役ということになっている。ということはお母さんと魔女は別の役?いやいや、お母さんが魔女に扮しているんですよね?子ども達が本当の危機に陥らないよう、懲らしめる程度で済ませるため、なんですよえ?それにしてもいくら物語でも無理があるような気がします。魔女を示す?メガネも、家に帰ってから子どもたちにわざわざ見せていたし。あれはつまり、あそこにいた魔女はママだったのよと教えたということですよえ?う〜ん、よくわかりません。魔女をやっつけるところも、主人公が知恵を絞って勇気を出して・・・というのがいまいち伝わってこないのです。お話全体としてなんだかピンときませんでした。子どもが見る「行きて戻りし物語」として成立していないのではないかと思ったわけです。いや、みなさん、あれ、どういう意味だったの?わかったんですか?</p>

公演名/施設	ご意見
<p>ヘンゼルとグレーテル/もみじホール城山</p>	<p>また、細かいところですがいろいろ気になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人なのでベッドの上に土足で上がるのがもう感覚的に気になって仕方ない ・おさげ髪に子どもっぽい服装、というのが舞台上では「子ども」を示す「記号」だとは思いますが、いくらなんでもちょっと苦しかったです。 ・ここに出てくる牛乳は、農家からもらったそのままの牛乳で、つまりノンホモ牛乳なので、上の方にクリームが固まってきているのだと思います。だからその固まった上のクリームを指ですくってなめるのでしょうか。でも、今回のように牛乳というような表現で指を突っ込んで舐めるといのは、見ていた子どもたちも意味が分からなかったのではないのでしょうか。 ・巡回ということで気を使ってもらったのだと思いますが、あえて相模原市のマスコットキャラクター「さがみん」を、しかも実物とセリフの2回も（！）登場させる意味があるのかなあ？ せっかく物語世界に入っていたのに急に現実に引き戻されてしまいます。それは「でてこいや〜」「バカチンが！」というようなセリフもです。 <p>・開演前にクイズ仕立てでイチゴの団扇を配る趣向はとても良かったです。良かったですですが、それを使って応援上映みたいな演出は、う〜ん、せっくなので私も団扇を振りましたが、みんなが団扇を振ったから物語の難所を乗り越えたという実感があんまり得られなかったような気がします。</p> <p>と、長々と書きました。素敵だと思うところもあったのですが、気になるところが多すぎて（しかも話が分からな過ぎて）評価としては「やや悪い」にさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1が「やや悪い」なのにこの項目を「やや良い」にしたのは、県内巡回公演ということ自体が素晴らしいと思ったからです。城山のホールのおそらく近所に住んでいる人が、歩きや自転車で集まってきている、そして駐車場の無料の駐車場があるということで、みなさん、気軽に参加できたのではないかと思います。もちろん日頃から舞台に親しんでいる人も集ってきていたことでしょう。それら参加者のみなさんの感想がどうだったのかはわかりませんが、オペラというものを見に行ったという満足感であるとか、舞台装置の転換などだけでも息をのんでいた子どもがいましたから、舞台を体験することができたというだけでももう十分価値があったのではないかと思いますのです。（でも、私が「1」で書いたような感想を親が感じたとしたら、次回も連れてくるかどうかかわからないです。子ども向けだからと思ってきたけどやっぱりオペラってわからないわ〜と思ったのではないかと思います） ・これは大変リーズナブルだったと思います！ ・ポスターに、クリスマスの恒例、というような表現があり、いや、もうクリスマスはとっくに終わりましたが？と違和感がありました。開演時間や終演時間は適当だと思いましたが。ということで差し引きで「普通」評価にしました。 ・一体感が得られる、よい規模感だったと思います。

2 広報宣伝 気づいた点（良かった点、工夫が必要な点）

公演名/施設	ご意見
オープンシアター2022/県民ホール大	<p>バレエ公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場には白杖の人や義足の方などがチラホラいらっしゃいました。障害がある人にも情報が行き渡ったのだと思います。何か特別な広報があったのか知りたいです。例えば何かターゲットを絞ったやり方なのがあったのかどうか。関連団体などに情報提供したとかそういうことがあったのかどうか。それともみなさん常連さんなのかしら？まさに神奈川県が目指す共生社会の実現にもつながるイベントだったと思います！ バレエ公演後、ホール前でジャズコンサート？があったのですが、あれはどこかに告知されましたか？すでに小ホールの方に入場してしまっていたので行けなかったのですが、もし誰でも見られるのであれば見たかったです。 <p>バレエ公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チケットは完売と耳にした。会場には出演者の関係者と思しき親子づれも少なくなかったが、ウェブサイトの特設サイトでの情報提供も丁寧で、ハンディキャップのある方も参加しやすい環境を整える努力のあとが見える。ただ、多くの漢字に振り仮名付きのチラシは少し息苦し区、情報過多の印象を抱いてしまうのはやむを得ないところだろうか。 <p>オルガン公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽好きの親子連れが圧倒的に多い印象。4歳児から入場可、公演時間とオルガン見学時間についてもチラシに記してあるのは、参加しやすさにつながる。満席ではなかったが、子どもたちの反応も良く、あっという間に終わった感があった。バレエ公演から連続して参加していた観客も少なくなかったように見受けられ、県民ホールの夏の風物詩として定着している印象を受けた。
スターダンス・バレエ団 Dance Speaks/県民ホール大	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに動画が掲載されているのでイメージがつかみやすいのが良かったと思います。（後半だけでなく、前半の内容も掲載してもらってもよかったですのではないかなと思います）当日配布のちらしは自由に持っていきような感じだったので、全員にゆきわたってはいなかったのではないかと思います、興味がある人だけが持っていきのりがちょうど良かったかもしれないです。 ・「緑のテーブル」を一押し作品として広報が組まれているのは理解できる。 ・ホームページにはわかりやすい説明があったが、そのほかではあまり目にとまる事がなかった。
浜辺のアイシュタイン/県民ホール大	<ul style="list-style-type: none"> ・フライヤーのデザインが話題になった作品である。早期から、広報により上演が期待されてきた。 ・U24、託児サービスなどの試みが行われている。 ・プライベートで見に行っただけでもこのチラシをもらったりしたので、こういうお芝居に興味を持ちそうな人のところにはいきわたっているのではないかと思います。といってもしばらく観劇していないともう機会はないかもしれませんね。 ホームページについては、よく読めば分かったと思いますが、4時間ノンストップの云々・・・とあり、そもそもその4時間というのが私の目が入らなかったことと、途中で休憩が入ってもノンストップというのかしら？とは思いました。 チラシの束は袋に入れずに配布していたので、こういう時代で、みんなエコバッグ持っていますから、一石二鳥と感じました。 数十年前から大友克洋のファンでした。ポスターも大変素敵だと思っているのですが、内容を反映しているのか、象徴しているのか、という点ではちょっと誤解を招くような気もしますがどうでしょうか。（ちゃんと後半も見ればあのポスターの意味がストーンと分かるのか？）まあ、必ずしも絵解きになっている必要はないとは思っています。
ファンタスティック・ガラコンサート2022～愛の花束～/県民ホール大	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ満席でしたし、こういうイベントを求めている人のところには届いているのだろうと思います。 ・内容も過不足なく掲載されていたと思います。 ・ギャラリー側から入館したのですが、そこで待ち構えていてチラシを渡してくれた人は業者の人だったのかしら？ ・ガラコンサートは例年のことなので知れ渡っているのかも知れませんが、あまり広報の打ち出しを感じませんでした。ホームページの情報もさっぱりしており、SNSでも早い時点からさらに情報展開があればいいと思いました。 ・毎年行うことをアピールする事が大事

公演名/施設	ご意見
ドリーム／ランド／県民ホールギャラリー	<p>・もともと私自身がこういう美術展的なものの情報を集めていないのでいきわたっているかどうかは何とも判定できません。ただ、私の勤め先には市内県内のみならず、全国から様々なイベントのポスターやチラシが送付されてきますが、少なくとも自分の職場には送られてきていなかったと思います。結構美術館とかのポスターも来るんですけど。</p> <p>・興味を引くかどうかという意味では、特集ページの最後まで見ればなんとなく面白そう？と伝わってきますが、ポスターやタイトルからこういう内容だということがどれだけ伝わるかという、日頃からこういう美術展に親しんでいる人や、出展者の関係者やファン以外にはどうでしょう？伝わりますかね？おそらくライトな美術館ユーザーには伝わらないのではないかと思います。今回は振り切った内容（ですよ？）なので、これはこれできっとよい？のでしょうか。でも私にはあまり伝わらなかったの「やや悪い」にさせていただきます。おそらく私はモニターでなければ行くことはなかったと思います。でも意外に混んでいたので、ニーズがあるんだということにむしろ驚き、感心しました。</p> <p>・チラシもセットしてあってよかったです。ただ関連事業があることを私自身は見落としていたのが残念。もっと早くリサーチすればよかったです。</p> <p>・特設ページを作り作家と作品について丁寧に解説しており、展覧会への理解が深まった。企画展の開催では主催者の思いや意見、ねらいをもっと語ってもよいと思う。事前にそれを伝えてしまうことが、一つひとつの作品の持つ方向性やパワーを失わせるものではないと思う。</p>
夜の女たち /KAAT大	<p>・ホームページに情報がたくさん掲載されていて、これから見る人の気持ちを盛り上げると思いました。また、別のお芝居を見に行った時（モニターではなくプライベートで行ったものです）に、この作品のちらしをもらったこともありますので、必要な人に情報が行き渡っているのではないかと思います。（最近プライベートで舞台を見たのは8月に1回、9月に1回だけですが、どちらでもチラシを貰いました）ただ、当日現地に行って知ったのですが、日にち限定で原作映画の上映？もしていたんですかね？？？知っていたら見たかった・・・でもそのことはホームページには載っていなかったような。リピーターを増やす取り組みについてですが、KAATの白いビニール袋を持っている人が何人かいたのですが、チラシって配ってましたか？それともあれは何かグッズを買った人のものだったのかしらん。今回はほとんどチラシももらわずに帰宅しました。そんな中で唯一貰ってきた「忘」のチラシ（三つ折りのリーフレット）は読みごたえもあり、また今後の展開が楽しみになる良いチラシだと思います。神奈川県民割というのもとりあえず試行ということになるのでしょうか、効果の検証をしながら、進めていただけたらと思います。</p> <p>・フライヤーが三人の女の後ろ写真ごとに3種類作られていたことを後になって知った。</p> <p>・託児サービスに加えて、字幕サービスなどあらたな試みが行われている。</p> <p>・U24、高校生以下割引、シルバー料金なども観客創造の一助となることが期待できる。</p>
星の王子さま /KAAT大	<p>・かなりの集客力でしたので、ニーズのあるところに情報が行き渡っていると思います。</p> <p>・ちょうどホームページのアンケートを実施していました。その結果も何かの機会で見せていただけたらと思います。</p> <p>・配布チラシも多すぎず少なすぎずでよかったです。</p> <p>・KAATの人気舞台の菜園であり、かなり情報はいきわたっていると思われる。ホームページも美しいのだが、もう少し理解を深める上で情報量が多くてもよかったかもしれない。ただ、当日は、比較的若い世代を中心にほぼ満席であり、広報宣伝の必要もさほどなかったものと理解した。</p>
さいごの1つ前 /KAAT大スタ	<p>・託児サービス、アフタートークなど関心を引き起こす試みが行われている。</p> <p>・チラシ、ポスターから感じたイメージと、この作品の内容にはやや距離がある印象を受ける。</p> <p>・初日はお子さん連れは1割弱くらいでしたが、これは想定内の範囲内なのでしょうか？夏休みですし、もっと子どもがたくさんいてもいいのではないかと思います。さてどうすれば子どもがたくさん来るのか・・・？親子券優先予約とか？一度来てくれた親子連れを上手く囲い込む方法があるのかな？（親子連れが親子としてお芝居と一緒に見に来る期間はそう何年もないから難しいですね。大人のファンは何十年も来てくれますが）初日が終わった後にすぐにホームページに演出家さん達のコメントが掲載されたのはスピード感があってよかった。</p>

公演名/施設	ご意見
ライカムで待っとく／KAAT大スタ	<p>・今回はエンタテインメント性も高いので、もっと多くの人に鑑賞してほしかったが、コロナの状況で、それも仕方ないのかも。</p> <p>・そういえばこのお芝居のちらしは県民ホールでしか私はもらった事がなかったかも・・・？でもそれは時期的に劇場を訪れていたかどうかにもよりますので、私がもらったかどうかということをもって広報が行き渡っているかどうかは何とも言えませんね。当日の混み具合から見るとかなりの集客でしたので、広報の成果があったと思います。</p> <p>・観劇前にさらっと見ましたが、英語字幕のことも書いてありましたっけ・・・？英語字幕があることはもっとアピールしてもよかったのではないかと思います。</p> <p>・様々なチラシもいただき、十分だったと思います。</p>
KAAT Exhibition 2022「鬼頭健吾展 Lines」／KAATアトリウム	<p>・日程的にちょうどよかったので見に行こうと思い、ホームページを見たのですが「日時」の欄はあるものの、日にちはあれども時間が書いていない。結果的に記載されているのを見つけることができましたが、時間が書いてあるのがかなり下の方だったので、書いていないのかと思いました。「日時」はセットとして「日」と「時」は近くに記載してある方が親切だと思います。開放してある空間に展示してあるのだから、考えてみれば、オープン時間とイコールになるというのは分かるのですが、考えなくてもわかる記載方法が必要ではないかなと思います。</p>
音楽堂紅葉坂プロジェクト Vol.1／音楽堂	<p>・ホームページに添付されたPDFファイルは、興味を引くデザインで期待感が高まった。文字だけでは説明しきれない内容のためツイッターでも動画の一部が公開されていたが、やはり公演を観てはじめてわかる内容だと感じた。新しい取組みをどう告知すれば来場に向けた興味関心を高めることができるのかさらに工夫する必要を感じた。</p>
子どもと大人の音楽堂<子ども編>一せかいはともだち！／音楽堂	<p>・素晴らしい観客動員数に感嘆しました。皆さんどこで情報を入手しているんでしょうね？</p> <p>・子どもにも読めるように配慮した平仮名主体のチラシは、大人には読みにくいですが、文字の色を変える工夫が楽しい雰囲気を生み出している。ウェブサイトの出演アーティストに関する情報も丁寧。リピーターを増やす取組みについては、よく分からない。今後の催し物のチラシ配布以外には、アンケート結果の集計から得られるものがあるのではないかと。少なくとも当日参加した親子たちは、素直に楽しんでいたように見受けられ、その満足度が次につながるように感じられる。</p>
シッラ／音楽堂	<p>・「音楽堂室内オペラ・プロジェクト」として継続していくことを期待したい。</p> <p>・U24、高校生以下割引などの試みが行われている。</p> <p>・少なくとも私はこの公演のちらしをどこかでもらったり、ポスターを見たことはありませんでした。あるいは記憶に残らなかっただけか。それでも、当日は開場を待つ人々の行列が出来ていたのことにびっくりしました。皆さんお待ちかねだったのですよね！ほぼ満席のように見えたので、この情報が必要な人には十分届いていたのではないかと思います。それとも前回購入された人の購入分だけでもほぼ満席になる見込みだったとしたらさほど広報も必要なかった？</p> <p>・あらすじなども簡潔に書いてあり、必要な情報は十分盛り込まれているとは思いますが。ただ、今回、桜木町からバスに乗ろうと思っていたので、それを検索したところ、交通アクセスのページを見ると公演ページを見るとあり、公演ページを見るとなかなかその情報に行きつけず、おそらく下の方だろうと、ずっとスクロールするとすっかり通り過ぎてしまう・・・。ということで、①交通アクセスからリンクするのを各公演のトップページではなく、バスの時間のところにダイレクトに飛ばす ②公演ページの上の方に目次というかサイトマップ的なものをつける（バスという見出しを作る） ③交通アクセスのところに、各公演時のバスの時間を直接掲載する等々工夫してもらえると、欲しい情報にすぐにアクセスできるのではないかと思います。今回プレートから見たかったのと、さらにその前に県立図書館の見学をしたかったので、残念ながらその時間ではちょうどよいバスがなく、今回も歩きました。機会をとらえてバス利用したいと思っています。（まさかチケット欄にバスの時間が書いてあるとは、初見ではわからないと思います）</p> <p>・多すぎず少なすぎず、いろいろなチラシをいただけて、色々興味が広がりました。</p>

公演名/施設	ご意見
クリスマス音楽会ヘンデル「メサイア」全曲/音楽堂	・音楽堂の定例公演であり、既に顧客がついていると思われる。ほぼ満席であり、広報宣伝の必要もさほどなかったものと理解した。
ヘンゼルとグレーテル/もみじホール城山	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な集客だったので良かったと思います。相模原市内に限って言えば「MOVE」効果か？ ・必要な情報は掲載されていると思うのですが、どうせなら「みんなが知っているヘンゼルとグレーテルではない」とおわせてほしかった。 ・他の会場は分かりませんが、城山では、私自身も関わっている事業のちらしも配布されており、おー、なるほど、こういう時にこうやって配布されるのであるか！と感心しました。実際にその事業が開催された後に、何で知ったかのアンケートが集まってくると思うので結果が楽しみです。

3 サービス 気づいた点（良かった点、工夫が必要な点）

公演名/施設	ご意見
オープンシアター2022/県民ホール大	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な数のスタッフの方が配置されていて、快適な舞台だったと思います。また、皆さんが黄色いTシャツを着ていたのも、誰がスタッフか一目瞭然でしたし、さらにそのTシャツがパリティとしていたのも（おろしたてだったのか？それともクリーニングに出しているのか？）カジュアルながらも、清潔感・キチンと感があってよかったです。 ・ただ、オルガン見学の時間はかなり「密」だったと思いますので、もう少し誘導などに工夫が必要だったかと思えます。オルガンの方は、規制退場だったのかどうかもよくわからなかったです。（私はすでに規制退場は不要かと思っています。文化庁や神奈川県ガイドラインなどで示されているのだとしたらしょうがないですけど・・・） ・大勢の観客のなかでもお揃いのTシャツはよく目立ち、ちょっと何か聞きたいそぶりをしていると、すぐに反応してくれるスタッフが何人もいて、とても好感が持てた。 ・大勢の観客のなかでもお揃いのTシャツはよく目立ち、ちょっと何か聞きたいそぶりをしていると、すぐに反応してくれるスタッフが何人もいて、とても好感が持てた。ただ、最後にオルガンを間近にみってもらうためにステージ上へ誘導する際の対応が準備不足だった点が惜まれる。漠然と声掛けをしたために、いくつもの待機列が生まれてしまい、不平等感が生じたかもしれない。事前に客席からステージを経由して退場するまでの誘導について確認しておくべきだったろう。また、安全のためには階段の上り下りの場所に、スタッフを配置しておいたほうがベターだったのではないかな。
スターダンス・バレエ団 Dance Speaks/県民ホール大	<ul style="list-style-type: none"> ・招待券をどこでいただければいいのかわからなかったです。「関係者」「招待」などの表記があるとありがたいです。オープンシアターの時は黄色いTシャツ、今回は上下黒のセットアップにまとめ髪。スタッフのみなさんも会場の雰囲気づくりの一部として、とてもシックで上品で、感じがよかったです。遅れ客のさばきとかも円滑でよかったです。熟練のスタッフさんですかね？（いつもお願いしている委託業者さんですかね？こんな対応が出来るスタッフさんがたくさんいる委託業者さんなら一者随契でお願いしたいですね～）いつもはあまり感じないのですが、なんかカゲアナの人の声が良かったです。しゃべり方とか。それともカゲアナは意識せずに聞ける方がよいのかな。でもすごくいい感じでした。アナウンス内容も過不足なくてよかったです。開幕ベルもいつもと違う感じがしたけど気のせいかな？ ・ホール内での誘導はスピーディーで適切に行われていた。 ・館内放送では、コロナに対応する内容を念入りしており納得がいくきました。
浜辺のアイシュタイン/県民ホール大	<ul style="list-style-type: none"> ・いつものことで致し方ないが、休憩時間の女性トイレの列が目立つ。 ・狙いでしょうか？今回のカゲアナはずいぶん幼い声の人だなと思いました。さて、休憩の時に女子トイレは大変な混雑でした。それでも空いているトイレもありましたので、トイレの誘導をしてもいいんじゃないかなと思いました。

公演名/施設	ご意見
ファンタスティック・ガラコンサート 2022～愛の花東～/県民ホール大	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は観客が多く、また開始時間から遅れてくる人もいたが、これに関しての誘導がうまくいっていた。 ・特に問題なくよかったですと思います。皆さんそろいのスーツでキチンとした感じで、公演の内容にマッチしていたと思います。規制退場はもうなくなったんですかね？(もうなくてもいいかなと思ってましたが、何かガイドラインの変更などに沿ってのことでしょうか？なくなったらなくなっただけで気になりますね) ・高齢の来場者も多く、レセプションの方たちによる案内などの声がけに好感が持てた。プログラムの配布場所もわかりやすくよかった。
ドリーム/ランド/県民ホールギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・モニター利用であることもすぐ伝わり(結構緊張するものです)、会場内でもブラックライトの件などご案内いただいたり、出口がわからない時もわかりやすく教えてもらえてよかったです。 ・私が訪れた時間帯は来場者が少なく鑑賞に適した状態でした。監視の方からブラックライトを貸してもらおうなど、受付の対応も含め気持ちの良い鑑賞になりました。
夜の女たち/KAAT大	<ul style="list-style-type: none"> ・黒地に白ドットのトップスと黒いスカートというのが案内スタッフさんの制服なのですかね？「会話は控えめに」的なボードをもってラウンドガールみたいに歩いているのが良かったです。今回も規制退場のアナウンスの前にとっとと帰っちゃう人がいて、モヤッとしました。
星の王子さま/KAAT大	<ul style="list-style-type: none"> ・KAATの構造上の問題であるが、舞台始まりまでの客の導入及び、舞台終了後の帰り客の混雑はあいかわらずである。仕方がないと思われるものの、舞台開始前の客の導入には、事前にネックが分かっているので、もう少し工夫があってもよいかもしれない。また、舞台終了後、コロナ禍の混雑を避けるための、ブロックごとの誘導を試みるも、客の動きのほうが早く、ほとんどアナウンスの効果がみられなかった。ちなみに、1階のカフェは客さばきが悪く、軽食を取るのに苦労した。カフェ側には、公演についての配慮はほぼない上に、上演があること自体をあまり知らないのではないかと思われる。
さいごの1つ前/KAAT大スタ	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な数のスタッフの方が配置されていて、快適な舞台だったと思います。ただ、規制退場のアナウンスを入れるタイミングがやや遅かったと思います。すでに席を立っていた人も多かったです。規制退場になることをあらかじめアナウンスしておいた方がよかったですのではないかと思います。いまどきは規制退場は当然のこととして、規制退場になる前に急いで帰っちゃおう！ということで席を立った人たちだったのかもしれないですね。 ・新型コロナ禍での公演ではあるが、スムーズな対応が図られていた。
ライカムで待っとく/KAAT大スタ	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のことですが、お客に対する誘導が、コロナ下であることを考えると、もう少し分離した方法が採れるのでは。
音楽堂紅葉坂プロジェクト Vol.1/音楽堂	<ul style="list-style-type: none"> ・レセプションスタッフが、鈴をバッグに付けているお客様を見つけ、鳴らないよう配慮を促している姿に好感が持てた。
子どもと大人の音楽堂<子ども編>-せかいほともだち!/音楽堂	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目の栗コーダーカルテットのコンサートの時間では、比較的後列で観覧していたので、スマホを使っている人にもこまめに注意喚起の声掛けをしているような様子もよく見えました。また、観客のマナーもよく、静かにするところでは静かに、笑うところ、拍手するところなどではしっかり楽しむという良い雰囲気でした。しかし2回目の時には(2回とも見ましたw)、ずいぶん泣き叫んでいるお子さんがいるようでした。途中で廊下に出る親子さんもいましたが、「こんなに大声で泣きっぱなしでも係員は声をかけないのか？これが赤ちゃんから入れますということなのか？子育て渦中の人はこの泣き声が気にならないものなんだっけ？」と、ヒヤヒヤする思いでした。2回目はかなり前列を陣取っていたので、ホール全体の動きがわからなかったのですが、そこは気になりました。とはいえ2回目はアンコールも飛び出す盛り上がりだったので、お客さんはみんな楽しんでいただけたと思います。

公演名/施設	ご意見
子どもと大人の音楽堂<子ども編>—せかいはともだち! / 音楽堂	<p>・久しぶりに実施された子ども向け無料体験機会であり、事前予約ナシで受け入れる方法だったせいか、少し不慣れなスタッフも散見された。現場対応に馴れたプロとそうでないスタッフとの格差が少し気になったが、それぞれの能力を勘案した人員配置がなされているように感じた。</p>
シッラ / 音楽堂	<p>・いつものことであるが、休憩時間の女性トイレのキューが目立つ。</p> <p>・別の項目にも記載しましたが、開場を待つ人の行列が出来ていたのに驚きました。注目の高さにはびっくりです。 ですが、ちょっとその行列のさばきが甘いのではないかとは思いました。まあ別に怒っている人がいたりしたわけではないのですが、自然発生的に?できた列に対し、開場後は、途中から3列になれば声をかける人がいたので(その時点では私もまだチケットを入手しておらず、はて、どこに行けばよいのかと遠巻きにしていたのですが)、その列に並ぼうとしたら「そこは最後尾ではありません」と別の人に注意されたりと・・・いや、じゃあどこに並べばいいの・・・。招待券をいただくにも開場前には(あるいは開場ギリギリまで?)は窓口が開かれていなかったの、一度普通の列に並んでいて、あ、あっちでチケット貰ってこないといけないのか・・・と列を離れたら、もう(当たり前ですけど)さっきいた場所には戻れず。 それにしてもアイドルのグッズ販売があるわけでもなく、もちろん指定席なのにこれだけ多くの人(プレトークを楽しみにしていたのだと思いますが)早めに来ているということに、みなさんの期待の高さを感じました。お着物の人もちらほらいらして眼福でした!</p>
ヘンゼルとグレーテル / しみじみホール 城山	<p>・記念撮影もしてもらい、サービス満点と感じました。なのに「良い」ではなく「やや良い」にしたのは、開演前にイチゴの団扇を配っていたのが・・・親切でもあるでしょうし、舞台進行上必要だということもあるんでしょうが、配るんだったらクイズいらさないじゃん・・・と思ってしまったのです。</p>

4 施設について

公演名/施設	ご意見
オープンシアター2022/県民ホール大	<p>・まず外観が、この日のために?三角旗のガーランドの飾りつけがしてあって、建物に入る前から気持ちが浮き立ちました。記念撮影している親子さんもいましたので、みなさん喜ばれていたと思います。</p> <p>・ベンチやソファは引き続き1席空けになっていて、ホール内は(しゃべらないルールがあるとはいえ)隣り合った席にも座れるのに、ロビーはやっぱり駄目ですかねえ・・・?電車もバスも隣の席に知らない人がいても座りますし、貼ってあっても親子なら隣に座るし、貼ってなくても、ロビーなら知らない人のそばには座らないと思うのですが、さすがに解禁は時期尚早ですか?(劇場のガイドラインに沿っている?)椅子に貼ってある表示は接着剤なのか養生テープなどを使っているのかどうかわかりませんが、はがした後にベタベタが取れないのでは?とちょっと心配です。</p> <p>・Wi-Fiが上手く接続できなかったです。はてみなさんはWi-Fi活用されていたのかしらん。</p>
スターダンス・バレエ団 Dance Speaks / 県民ホール大	<p>・せっかく来たのでギャラリーも見ていこうと思ったのですが、受付の人に威圧を感じちゃって、フラッと見たいというくらいの気持ちだと階段を降りにくいです・・・あれ、受付テーブルをもう少し斜めにするとか工夫した方がよいのでは・・・</p> <p>・施設は清潔でした。アルコール消毒の配置も行き届いていました。</p>

公演名/施設	ご意見
浜辺のアイ シュタイン/ 県民ホール大	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの増設が必要ではないか ・舞台設備の機能向上が必要ではないか ・上階へのアクセシビリティの改善が不可避ではないか <p>・外階段の階段下、2か所レンガ部分が修繕中になっていて、雨のせいで工期が延びているのかとも思いましたが、事業が開催される時には直ってほしいなと思いました。おそらく施設の老朽化で直しきれないという部分もあると思うのですが・・・人が歩くところは安全の観点からも(三角コーンで区画されていましたが)なるべく早めに直してもらえると嬉しいです。歩行者用通路と書いてある緑のゴムシートが敷いてあり、ちゃんと点字ブロックをふさがないようにしているのはとても良いと思いました。その緑のゴムシートの上に三角コーンが置いてあったので、もう少し別の敷き方・置き方があったのではないかと感じました。また、噴水(元噴水?)の中も除草してもらえると美しいと思います。</p>
ファンタ スティック・ガ ラコンサート 2022～愛の花 束～/県民 ホール大	<ul style="list-style-type: none"> ・県民ホールでのバレエを行うには、施設的に(例えば床の音対策や、証明など)もう一工夫あっても良かった。 ・女子トイレが混みあうのが悩ましいですね。個室の数を増やすのは難しいと思います。次に改修の機会がある際にはぜひ。それまでの間は館内の別の場所のトイレに誘導してもらおうにするとか・・・。私自身の防寒対策が足りなかったとも思いますが、コンサートの後半は足元が寒くて、トイレに行きたくなりました。 ・施設は清潔に保たれていました。身障者用トイレの列と一般の方のトイレの列が交差してしまい、今後の対処方法に工夫が必要だと感じた。
ドリーム/ラ ンド/県民 ホールギャ ラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・こんなに素晴らしいギャラリーとは知らなかったです。もっともっと活用されるといいですね!ホールに来た人へのアピールがもっとあれば、開場前などに立ち寄る人も多いのではないかと思います。有料だと気軽には訪れられないかもしれませんが、以前は無料の催しもあったと思うので。 ・清潔に保たれていた。
夜の女たち /KAAT大	<ul style="list-style-type: none"> ・蓋のついている飲み物ならロビーで飲んでもいいというアナウンスがあったのでびっくり!そしてありがたいと思いました!(前からそうでしたか?)8月におじゃました時はまだあったインスタレーションがなくなっていたので、アレなぜなぜ?とと思っていたのですが、これもまたいただいたパンフレットの解説で、その意図を知りました。そういうことだったんですね(プレシーズン・メインシーズン)。
星の王子さま /KAAT大	<ul style="list-style-type: none"> ・極楽浄土に来たのかと思いました。中華街との連携素晴らしいですね。もっとホームページにも大きく載せてもよいのではないかと思います。それとも来た人のお楽しみでしょうか? ・既に上記記載した通り、ビルの上層階ということで、客の導線に限られどうしても混雑する。客は慣れているのかもしれないが、時間がかかり、上演開始に間に合うか心配した。
さいごの1つ 前/KAAT大ス タ	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェが建物内にあるのだから、カフェに行けばいいということだと思いますが、この猛暑で、熱中症に注意注意!という時代ですから、ホール内ではだめだとしても、廊下などでは水筒やペットボトルで水分補給するのは許してもらいたいです。難しいですかね?まさか客席ではないところでも飲食禁止とは知らず、廊下で飲み物を飲んでしまいました(注意はされなかったですけど)。私のイメージではお芝居が始まる前にホワイエなどで、ちょっと軽食、ちょっと腹ごしらえ、なんていうのは仕事終わりに駆け付けた劇場での「あるある」な風景だと思っていたので意外でした。 ・以前5月だったかに拝見した1階のインスタレーションが8月でも見ることができ嬉しかったです。常設になったのでしょうか? ・このご時世の節電のため?1階のNHKのコーナーはお休みしているのかというくらい照明を落としてびっくりするくらいでしたが、同じ1階のトイレの便座は飛び上がるほど熱かったです(ちょっと大げさ?)。便座の温度は節電のためにももう少し低い設定にしてもよいのでは?
音楽堂紅葉坂 プロジェクト Vol.1/音楽 堂	<ul style="list-style-type: none"> ・一階ホワイエでワークショップが行われていたが、これから始まる内容を垣間見る感じができてよかった。

公演名/施設	ご意見
子どもと大人の音楽堂<子ども編>一せかいはともだち! / 音楽堂	<p>・ちょっと出遅れてしまい、会場に着いたのが11:05くらいでしたので、すでにホールへの人流が途絶えていたからではあるのですが、ホールの入り口がどこにあるのかわからず、係員さんに階段を上って2階からだと言われたときには「初見殺し」だと思いました。どこがホール入り口かというサインがなかったような気がします。それともあったのかな? あったとしても気が付かなかったのか・・・? あるいは普通は開演前に入場するか、開演後だとしても同時並行で別のイベントがあるということは少ないだろうから、入場者=ホールを目指す人だから、係りの人が必ずその時に適した入り口を案内してくれるのでしょうか。その後、ホール入口は1階にもあることがわかりましたが、おそらく開演後だったのでそこからの出入りはできなかったのでしょうか。となると、ホール入口がわからないというのはレアケースだったか・・・?</p> <p>・コロナ対策を行いながらの実施なのでやむを得ないことだが、一日中楽しもうとすると水分補給や軽食をとれる場所が欲しい。能楽堂でも同様な催し物を実施していることも考えると、キッチンカーなどがあっても良いような気がした。 ガラス張りのホワイエでの公演は、開放的な雰囲気で行えるだけでなく、外を通る人たちも覗くことができ、興味を刺激するきっかけになるのは好ましい。</p>
シッラ / 音楽堂	<p>・撮影ブースが中央に設置されていて、ほほう、撮影があるのね~と思っていたのですが、その撮影用に区切られたコーナーのすぐわきの列のところにもお客さんが座っているでビックリ。見切れ席なのではないの? それともちょっとお安い設定だったのでしょうか。撮影するくらいだから、むしろよく見えるところなのか?</p>
クリスマス音楽会ヘンデル「メサイア」全曲 / 音楽堂	<p>・高齢者が多く、駅からの送迎があるのはよかった。一方、いつもながらのことだが、トイレが少ない。特に女性トイレは長蛇の列であった。和式のトイレがいくつかあるが、こちらは不人気で、使う人も限られているように見受けられた。洋式に変更することも考えてもよいのではないだろうか。また、飲食にも制限があり、こちらも長蛇の列で、潜在的な消費を逃しているように思われる。何か工夫することはできないのだろうか。(インターミッションでトイレに行くだけでなく、お茶やワインを楽しむということもあり得るだろう。)</p>
ヘンゼルとグレーテル / しみじみホール城山	<p>・相模原市内にはロールバックチェアの施設(会場)が3か所あり、そのうちの2か所(どちらも元々は県の施設)は利用したことがあったのですが、その3か所の中でも一番新しいこの城山のホールのロールバックチェアは、他の2つと比べてどうなのだろうと興味を持っていました。しかしながら、なかなか利用するチャンスがなく、今回念願かなっての初体験で、個人的には大変感慨深いものがありました。さすが年式が違うとこんなに違うかと感激もしました。これがロールバックチェアだと知っているからこそ揺れが気になる場面もあるのですが、これは知らなければ常設の席だと思うくらいのクオリティなのではないかと感じました。</p>

5 自由意見

公演名/施設	ご意見
オープンシアター2022/県民ホール大	<p>・（既に連絡が行っているかもしれませんが）バックヤードツアーに申し込んでいたつもりだったのですが（後で確認してもらったらやっぱり申し込んであった）、現場のスタッフさんの名簿には記載されておらず、参加することができなかったのは残念でした。ただ、バックヤード自体を見たかったというわけではなく、むしろバックヤードツアーをどんなふう運営しているのか、参加者はどんな反応なのかを見たかったので、参加者の反応については、当日の舞台上の自由見学の様子などにより、家族連れのみなさんの様子などを拝見し、大変好評な様子も見て取れましたので、目的の半分はすでに達しておりました。また次の機会があれば、ぜひ参加させていただけたらと思っています。</p> <p>・ところで、大変ありがたいのですが、招待していただける席がとても良い席で、こんないいところで見ているのかな～？と書いてしまいます。いやありがたいですけど。もっと事故席みたいなところ（事故席は当日まで取っておかないとダメか）とかすり鉢の上段でもいいんですけど。いやそりゃよい席で見るとは嬉しいんですけど。お客さんの気持ちによりそったコメントになるかしらんと書いてしまいます。それともこんな良い席で見させてもらえるものなのですか？（だからといって私だけ最後列とかにされたら寂しいですけど）</p> <p>・およそ文化・芸術・エンターテインメントは、様々な古典作品を下敷きにしていたり、オマージュ・パロディ・リメイクなどなどになっていて、クラシック音楽もそうですが、歴史やら聖書やらの知識があれば、何を見てもさらに楽しめると思いますし、そういうのを楽しめることこそがインテリジェンスかな～教養かな～と思っています。子どもの頃にこういうバレエガラ公演やら、オルガンコンサートなどに親しんでいる子どもたちが羨ましいです。何かの機会に、あ、これはあの時見たあれが元ネタか！ってことになりますもんね。でも自分が子どもに戻ることはできないし、何歳になっても「今日が一番若い」んですから、いろんなことに興味をもって、日常を楽しむ大人として生活していきたいものです。</p> <p>・たまたまこの翌日になんかホールに行ったのですが、ホワイエには舞台衣装が飾ってあり（自由に着て写真を撮ることもできる）、とっても素敵でした。県民ホール的人数では無理だと思いますが、バレエの舞台衣装を間近で見ることがあれば楽しいだろうなと思いました。</p> <p>・今回、初めて音声ガイド（※）を拝借した。音量調節がうまく出来ず、隣席の方に音漏れなどで迷惑をかけていないかが気が気でなかった。猛スピードでバレエの情景からダンサーの動き、ポーズなどの用語を説明する言葉を聞いているうちに、かなり苦痛になってしまった。生演奏の美しい音楽に耳を傾けたいのに、そこに言葉が重なることに慣れることが出来ず、結局、途中で聴き続けることを断念してしまった。その時々ダンサーの動きや用語を逐一紹介・説明することがどのくらい有効なのか、私には想像がつかない。伝えるべき要素が多過ぎる気がしなくもない。会場には白杖を手にした方々が何人かいらした。その方たちの感想を是非伺ってみたいと思う。一方において字幕の活用は、バレエのように言葉を介することなく、身体の動きで表現する芸術領域ではある程度有効な手段のように感じた。しかし、それもまた偏見かもしれない。鑑賞の補助手段とそのコンテンツについては、もっと深く検討出来ることが望ましいように思う。なお、ロビーでは素材の違う縦糸と横糸を組み合わせた「さをり織」の体験と展示のほか、ハンディキャップのある方による動物アートの製作と作品展示も同時開催されていた。さりげなく、知らない世界へのきっかけづくりにつながる場を交える取り組みは、とても好感がもてる。</p> <p>・小ホールの響きの良さを味わい、ホールと共にあるオルガンへの関心を喚起させるのいうってつけの企画だった。こうした機会を地道に重ねることで、ホールが身近に感じられるようになることを期待したい。</p>
スターダンサーズ・バレエ団 Dance Speaks/県民ホール大	<p>・再演ということですが、国際状況を踏まえたときにぜひ今多くの人たちに観てもらいたい作品だと思いました。</p>
浜辺のアインシュタイン/県民ホール大	<p>・昨今、アンケートは紙ではなくQRコード経由で、ということが増えたと思いますが、回収率の推移などについて何かの機会にお知らせいただけたらと思います。</p>

※本公演で提供している音声ガイドは、視覚に障害のある人たちが芸術を楽しむために、音により視覚情報を補助するためのものです。

公演名/施設	ご意見
ファンタスティック・ガラコンサート 2022～愛の花東～/県民ホール大	<p>・公演内容は素晴らしく、引き続き多くの方たちにご覧になってもらいたいと思いましたが、この取組みは継続していただきたいと思います。</p> <p>・唯一「画竜点睛を欠く」と思ったのが、オペラの時の字幕に「満天の星空」とあったことです。脚本通り？訳詞通り？で変更できないのかもしれませんが、「満天」の「天」がすでに「空」の意味なので、「満天の星空」というのは「頭痛が痛い」「馬から落ちて落馬」の類の誤用ですので、もし次の機会があれば修正をご検討ください。（こういうのが気になる質ですみません）</p>
夜の女たち /KAAT大	<p>・「プレシーズン」・「メインシーズン」の件ですが、有料のパンフレットではなく、誰にでも見られる形でそういう情報（意図するもの）を出した方がよいのではないかと思います。それともホームページに載っているのかな？屋外には「忘」をテーマに装飾がありますが、知らなくてもわかるかどうか・・・？とりあえず興味を引くことは確かですね。時々変わっているんだということが気が付けば、道行く人で、日頃は芝居を見たりしたい人にも関心が高まりそうです。ともあれ、そういう狙いであるところの「メリハリ」は、ワンシーズンではなかなか根付かないものであり、ロングスパンで考えて取り組まないと効果が目には見えないと思いますが、これからどんな仕掛けがあるのかというのはすごく楽しみです。</p>
星の王子さま /KAAT大	<p>・ユニークで新鮮な驚きに満ちた公演で、堪能した。こういったいわば前衛的な舞台をチケットを買って鑑賞する観客が育っている、あるいは存在することは、素晴らしいことであろうと思う。若い世代も多く、ダンスの力を改めて感じた。</p>
さいごの1つ前 /KAAT大スタ	<p>・どうせなら14日のアフタートークがあるときに見にいきたかった！←その後YouTubeで公開されていましたね！（まだ見ていませんが）公開ありがとうございます。</p> <p>さて、どこに書けばいいのかわからずこの欄に書きますが、先日の評価の時の資料に、チラシなどを配布する袋を環境に配慮して紙製にしたというような記述があったように記憶しておりますが、今回はごく普通のビニール製でした。あれは「試行的に紙製？にしたこともある」ということだったのでしょうか？</p> <p>お芝居の感想の続きです。観覧後数日たち、ツイッターなどで色々な人が感想ツイートされているのを見ました。そもそもKAATさんで感想まとめもされていて、それはそれで興味深かったです。ですが、KAATさんはどうお感じかわかりませんが、ほとんど業界の人（舞台関係者、女優さん、評論家さん等々）とか、お芝居通の人のご意見（良い評価）ばかりで、全くの一般の人の意見というのがあまりない。一人だけツイッターであまり芳しくない感想があった程度か？私自身は見ていろいろモヤモヤしました。でも結局、白石加代子さんの存在感ですべて帳消し、全部ありになっちゃった？</p> <p>少なくとも初日の感想として、演出家さんが評価しているような感じ（観客とのやり取りは半分白紙だったが、想定以上の効果があったというようなコメント）ではなかったと思います。というか、あの感じをそう捉えたの！？</p> <p>まあ舞台は生ものですから、楽日に向かってどんどんブラッシュアップされていったのかもしれませんが。（でもあの感想は初日の感想ですよ、タイミング的に）好みの範疇ですかね～。</p> <p>本当は感想をもっとずっと（引くほど）長文で書いていたのですが、一言でいえば、この演出家さんは好みではない、ということに尽きるので、それはいささか個人的すぎるのでこのあたりにおきます（って、それでもだいぶ書きましたけど）。</p>
ライカムで待っとく /KAAT大スタ	<p>・今回の演劇は、道具立てが最小限なもので成り立たせており、これは演出と、出演者の力量だと思った。</p>
KAAT Exhibition 2022「鬼頭健吾展 Lines」 /KAATアトリウム	<p>・手書きなら○を記入しますが、エクセルなので、プルダウンで選べる方が便利かなと思います。（自分で設定しました）</p>
音楽堂紅葉坂プロジェクト Vol.1/音楽堂	<p>・演奏の準備の都合で仕方がないとは思いますが、休憩時間のとり方が15分、30分とあり長く感じました。</p>

公演名/施設	ご意見
子どもと大人の音楽堂<子ども編>一せかいはともだち! / 音楽堂	<p>・酷暑が続く日々のなかで、比較的涼しい一日だったことはとてもラッキーだった。開場前の待機列もさほどの問題もなく、コロナ対策のための換気・消毒にも留意が払われていて、子ども連れで密になりがちなイベントとしては、比較的スムーズに運営されていたと思う。どちらかというところ、高齢者のグループ参加者のマナーに少し問題があるようには感じた。</p> <p>音楽堂の施設機能をうまく活用し、ホールで音楽や獅子舞を観聴する経験とホワイエで実演を間近に観たり、楽器やダンスを体験したほか、紙の帽子を作ったり、知らない言語の絵本を眺めたり。コンテンツ数は必ずしも多いわけではないが、適度な規模で十分に楽しめた。ひっきりなしに帽子づくりに訪れる子どもの姿、預かり場所に並んだベビーカーの隊列を見ても、スタッフの方々の苦労のほどは察して余りある。大人たちがかいた汗の量だけ子どもたちの笑顔が増えることを実感した一日だった。</p>
シッラ / 音楽堂	<p>・規制退場について：本編終了後、まだまだ拍手が続いているのにどんどん帰っていく人がいる。まだまだ何度目かのカーテンコールの最中だというのに、やっぱり帰る人がいる。何度目かのカーテンコールで、とうとうスタンディングオベーションになり、でもまだパラパラ帰る人がいる。ちょっと失礼ではないのかしらんとモヤモヤ。まあ、トイレに行きたい人もいるでしょうし、電車の時間やら車の時間などもあるでしょうけど・・・。</p> <p>そして放送が入ったので、ここで終わったなと思って帰ったのですが(ロビーの展示を見損ねていたのもそれを見てから帰ろうと思ったのでやや足早に)、展示を見ていると、ロビーのモニターを見たらもう一回カーテンコールあったのか! なんだ、じゃあ私もカーテンコールの途中で帰る人になっちゃったか・・・。放送後にもまだカーテンコールがあるとは・・・。拍手が鳴りやまない感じでしたもんね。さすがです。もう少し待てばよかった。規制退場のアナウンスはロビーで聞きました。そうか、規制退場のアナウンスがあるまではアンコールが続くということであつたか! ああ、自分も規制退場を守らない人になってしまったか。</p> <p>それにしてもこんなに帰れてしまうのなら、もう規制退場の意味があるのかどうか? と思いました。まあコロナ前から規制退場はある程度大きい会場ではありましたが。</p>